



主な内容 No.1290

- 特集 国民年金4・5面
- 犬の登録と狂犬病予防注射を3面
- 移動図書館「つばき号」巡回日程表6面
- 市民ガイド7~11面

救急病院当番表(4月)を11面に掲載しています。

発行：松山市役所／編集：総合政策部広報課／毎月1日・15日 ☎948-6705 FAX 934-2578 HP http://www.city.matsuyama.ehime.jp/
一人でも多くの人を笑顔に 幸せ実感都市 まつやま

世代別・職業別 新タウンミーティング始まる!



平成23年から市内全41地区で市民と野志市長が直接対話を重ね、地域の魅力や課題などに関する積極的な意見・提言を市政に反映させてきたタウンミーティング。さらに多くの市民の意見を反映させようと新たに開催する世代別・職業別新タウンミーティングが始まりました。第1回目には、松山大学の学生ら42人が参加し、魅力あるまちづくりや学生の松山定着などをテーマに90分間意見を交換しました。

第一回目は学生と

2月18日、松山大学で開催された学生と市長による世代別タウンミーティング。学生から「人口減少対策のため、愛媛マラソンや俳句甲子園など大型イベントを今後継続して、市外の人に松山を訪れてもらいたい」との提言に、市長は観光客数の多い松山城や道後温泉の魅力を上げていくことや、プロ野球オールスターゲーム開催などの事例を挙げ「今後も市外・国外からお客さん呼びたい」と応じました。

また「興居島などで、若年齢層に農業に従事させる手段はないか」との意見に対しては、小学生に郊外で農作業を体験してもらおう事業や、「せとか」など有望品種生産で所得向上につなげようとしていることを紹介し「学生ならではの、目からうろこの意見もあった。これからもさまざまな世代の意見を市政に反映していきたい」と話しました。 ※詳細は後日、市ホームページに掲載します

勉強場を増やして



野本 啓人さん (松山大経済学部3年)

図書館など大学周辺の勉強場所設置を提案したところ、市長に丁寧に答えていただき、うれしかったです。今回地元桑原地区で福祉マップが作成されていることも学べたので、今後携わってみたいと思います。

お問い合わせは、タウンミーティング課 ☎948 6333
FAX 934 23360

2月14・15日にアイテムえひめで、えひめご当地こなもんサミット・まつやま農林水産まつり・まつやま食育フェスタが同時開催され、多くの家族連れらでにぎわいました。

初開催!! えひめの「こなもん 人気NO.1は「三津浜焼き」

「こなもんサミット」では、温州ミカンなどの果汁を小麦粉と一緒に練り込んだ麺が特徴の「みかんうどん釜玉」や、マヨネーズ入りでコクのある味わいの「北条たこ焼」など県内13のご当地こなもんグルメブースが出演。購入者の人気投票の結果、「三津浜焼き」がNO.1に輝きました。



松野焼きを購入する客

アイテムえひめで食ざんまい!

新鮮な農林水産物大集合

松山で採れた旬の野菜や果物、瀬戸内海の新鮮な魚や加工品を一堂に集めた「農林水産まつり」。来場者はその場で試食したり、卵やかんきつなどの詰め放題に挑戦したりして、目当ての品を買い求めました。



かんきつの詰め放題に挑戦!

お問い合わせは、農林水産課 ☎948 6565
FAX 934 1808

県内のおいしさ一遍に!



中越 悠介さん(萱町四丁目・写真右) 尾中 彩さん(清水町一丁目)

にははま太鼓焼き、じゃこカツ、鯛カツバーガー、八幡浜ちゃんぽんなどを食べました。県外出身なので、愛媛のこなもんメニューを一遍に、しかも出来たてを楽しめて良いですね!

お問い合わせは、ご当地こなもんサミット実行委員会事務局(坂の上の雲まちづくりチーム内) ☎948 6942
FAX 934 1804

食の大切さ学ぶ



料理のプロから魚のさばき方を学ぶ

食育に関心を持ってもらうと開催された「食育フェスタ」では、プロのシェフによる調理実演・試食や松山の味クッキングなどの体験が行われました。来場者は楽しみながら、食の大切さを学びました。

お問い合わせは、健康づくり推進課 ☎911 1859
FAX 925 02300